



# 布施だより

## 《 人の思いにふれる ～ 2学年職場体験学習 ～ 》

7・8日(火・水)には「総合的な学習の時間(キャリア教育)」での流れの中で、2日間の職場体験学習が行われました。受け入れていただいた職場の皆様、本当にありがとうございました。228名の生徒諸君の希望と職種を組み合わせ、より質の高い追究を願っての追究でした。

2日目、スポーツ店に体験をしている男子生徒3名が、職場担当の方と一緒に職員室へ営業に来てくれました。いつもと同じ中学校のジャージを着ているのに、表情がよそ行きです。「篠ノ井西中学校の○○です。よろしく願いいたします。」とパソコンとお辞儀する姿勢に、緊張感さえ漂わせています。職場担当の方は、「本当によくやってくれています。ここ数年の中でも、最も気働きをして働いてくれていますよ。」と彼らの働きぶりを褒めてくださいます。それを聞く学年担当の先生方の嬉しい顔ったら、ニヤ～リと目尻を下げてしまっています。我が子の成長を手放しで喜ぶ保護者の表情です。



学校での営業を終えた生徒諸君は、帰り際、職員室の出口で、ひとりひとり適度の声量で「ありがとうございました。」と頭を下げて会社に戻っていきます。その姿からは、少なからずの自信、謙虚、節度・・・が身に纏いつつあることが分かります。わずか1日余りの体験なのに、何でもこうも背筋がスッと伸びるのだろう。学校から一歩外に出て、認められることの価値の大きさに改めて気づかされます。人様の役に立っているという自己肯定感と自己有用感が一気に高まるのだから、この変化も当然と言えば当然です。

キャリア教育を含めた「総合的な学習の時間」の追究を着実に積み上げている学校の、各種調査の値が芳しいのも、頷けます。笑顔で関わり合うことの力が結実していくのですね。・・・本校の「総合的な学習の時間」の目標は『自分を取り巻く社会の様々な課題に意識を向け、出会いや関わりから生まれた人の思いの追究を通して、自分の目指す生き方を見いだしていこうとする態度の育成』です。「人やものの思い」に丁寧に触れていこうとする本校の追究が、確かな成果につながりつつある、これにもやはり頷けるのです。



## 《 幼児とのふれあい交流 ～相手意識に立って～ 》

やはり、人と人との交流からです。

6月に、2学年諸君が技術・家庭科の学習の一環としてそれぞれの学級ごと「杉の子第3保育園」を訪問し、「子どもたちとのふれあい交流」を行いました。

追究の目的は

- (1) 幼児の生活と遊びについて学習したことをもとに、工夫しながら幼児と接する。
- (2) 幼児や園の様子を観察することで、幼児の発達への理解を深める。
- (3) 幼児との関わりにおける自分の課題をもち、その解決に取り組む。 でした。

家庭科担当の中島朋美先生のレポートをお伝えします。

今年度は、幼児の心身の発達についての学習を生かし、ふれあい交流に持参する《紙芝居》を製作しました。各クラスとも、訪問先クラスのグループごとに完全オリジナルの紙芝居を作ることを目指し、グループの中で仲間同士制作作業を上手に分担し、効率よく仕上げてくれていました。

訪問当日は、ふれあいを通じてやってきたいこと、頑張りたいこと、見て学んできたいことなど、事前に決めたそれぞれの課題を、各自が確認してから体験に臨みました。子どもたちとの対面の瞬間、「かわいい～」とつぶやく生徒が多くいます。そして子どもたちよりも生徒の方に、戸惑う様子や照れる様子が見られました。



しかし、いざ自己紹介が始まると、笑顔で『○○お兄さんで～す！』などと言い、子どもたちが親しみやすくなるようにお茶目な工夫をしてくれている生徒たちがいました。紙芝居を発表する際には、大きな声が出せず、子どもたちに『もう一回読んでください！』と言われて照れ笑いする姿、あるいは自分たちの力作を堂々と発表し、子どもたちの反応を見て満足そうにする様子が伝わってきて、次第に雰囲気慣れてきたことが分かってきました。

子どもたちと自由に遊ぶ時間を設けてもらい、じっくりひとりひとりの子どもと話しこんだり、自由に遊んだり、笑顔で関わるができるようになってきていました。

『子どもと目の高さを合わせて一緒に遊んであげたい』、『子どもの気持ちを考えて関わられるようにしたい』と、多くの生徒が願いをもっていました。言葉でしっかり伝えられない子どもには真っ直ぐに目を向けて、関わろうとする姿にまで変容していて、とても印象的な追究でした。

そして叩いたり蹴ったりしてくる子どもたちがいる中で、そうされながらも笑顔で遊んであげる生徒の姿や、「抱っこして～」と言われ、抱っこしながらお話をしたり遊んであげたりする生徒の素敵な姿がたくさんあり



ました。子どもたちのペースを大切にするとともに、目線(目の高さも気持ちのもち方も)に合わせて、ふれ合うことができたひと時でした。別れのときには、子どもたち以上に別れを惜しみ、「またきてね」「また来るね」と言葉をかけ合っていたみんな。ほんの数十分前に出会ったばかりの、中学生と子どもたちの双方が、満面の笑顔であったことがとても素敵な時間でした。

( 事後学習にて・・・ )

ふれあい交流のまとめの時間の中で、「何かをして欲しいときに、年少さんの子は自分の方に背中を向けてきた。」、「子どもたちは、嬉しさも悔しさも、表情や体で表現していた。」など、言葉はうまく話せないけれど、顔の表情や体全体で気持ちを表そうとしていることこそ、子どもたちの特徴なのだ、と挙げられました。ふれあいの中で子どもたちをじっくりと観察してきたからこそその感想であり、自分自身もこんな風に育ち、育てられてきたということが、感じられた追究だったようです。



交流が終わった今は、これまでの学習のまとめをするとともに、お世話になった「杉の子第3保育園」の先生方にお礼状と、子どもたちへメッセージカードを製作しているところです。相手の方に伝わる相手意識を大切にしたい表現をじっくりと考えているところです。

温かな優しさを、子どもたちからいっぱい受け取って、生徒諸君の心にもホッコリとした思いが芽吹いたひと時でした。

## 《夏の活躍 ～ 県大会 ～》

《陸上競技》 ・ 男子 4 × 100m R 第 3 位 44 秒 77 仙田勇人さん 伊東嵩矢さん  
中島啓貴さん 土屋優輝さん



・・・ **祝** 北信越大会出場 於：福井県

・ 男子四種競技 第 7 位 2,000 点 大舘杏土嶺さん  
・ 男子 200m 第 4 位 23 秒 17 土屋優輝さん  
・ 男子 200m 第 6 位 23 秒 59 伊東嵩矢さん

《剣道部》 【女子個人】 高橋舞さん 2 回戦惜敗

《新体操》 西村玲歩さん 33 位



50<sup>th</sup>  
2015

12 日 ( 日 ) には、資源回収で大変お世話になりました。

真夏日になり、照りつける強い陽差しの中、各地区から持ち寄っていただき、大きな収穫を得ることができました。中には回収を失念したご家庭もあり、直接運び込んでいただいたりして、ご迷惑をお掛けいたしました。この収益は創立 50 周年記念事業を通じて、生徒たちの学習活動に生かしていこうと考えております。本当にありがとうございました。